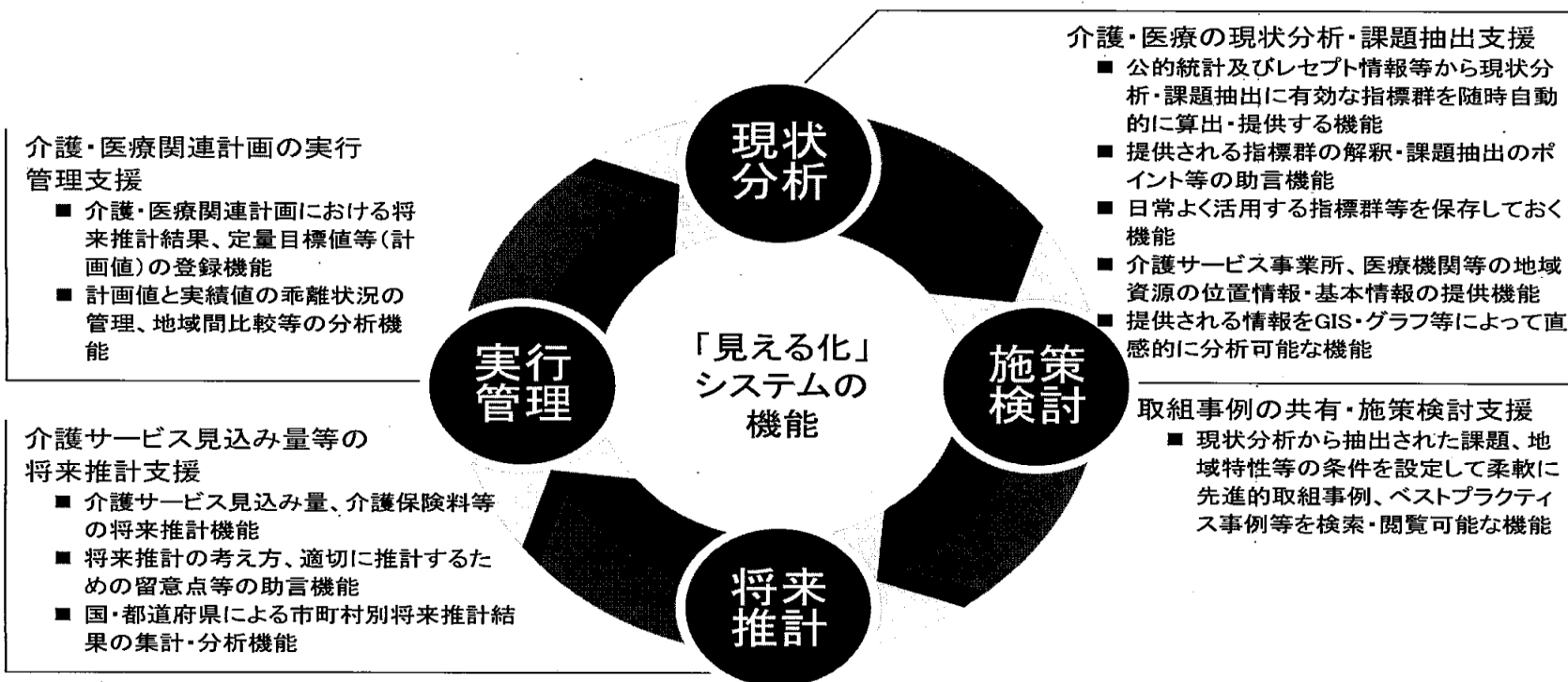


## 「見える化」システム等による地域分析について

### 地域包括ケア「見える化」システムの概要

○ 地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における計画策定・実行を支えるために「介護・医療の現状分析・課題抽出支援」「課題解決のための取組事例の共有・施策検討支援」「介護サービス見込み量等の将来推計支援」「介護・医療関連計画の実行管理支援」の機能を提供する。

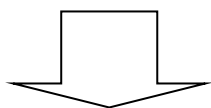


## 1、国が提案する課題分析の活用例（平成29年7月3日厚生労働省老健局介護保険計画課資料：抜粋）

### 【地域分析の意義】

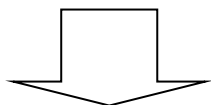
- 全国一律である介護保険の基準の中で、保険者ごとの高齢化の状況や地理的条件など、地域実情を踏まえた目標を検証する。
- 認定率や介護給付費などのデータ等を分析し、介護保険計画に活用することで地域特性を生かした保険者機能を発揮する。

①検討結果記入シートの活用（※別紙）…見える化システムから数値等を入力し、全国平均値等との比較を行う。

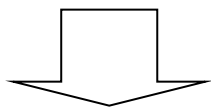


②平均値等との乖離について、「理由」「問題点の考察（仮設の設定）」「仮設の検証方法」「対応策」を記入する。

※ 色々な可能性を考察することが目的であり、「自治体としての公式見解」ではないことに留意する。



③分析した数値を基に、関係者と議論…各種専門職や包括支援センターなどの意見を参考に、計画作成委員会などで議論する。



④分析、議論した結果を勘案し、介護保険事業計画の作成に活用する。

## 2、全国、福岡県、久留米市、近隣保険者（佐賀中部広域連合）の基礎データについて

①比較対象の基礎データ（平成29年3月末時点※介護保険事業状況報告書、人口統計資料）（単位：人、%）

	久留米市	福岡県	全国	佐賀中部広域連合
人口（※H29.4.1時点）(A)	306,211	5,098,153	126,761,000	347,501
65-74歳高齢者数(B)	39,912	685,846	17,454,190	45,625
75歳以上高齢者数(C)	38,741	655,548	16,951,240	48,427
高齢者数（合計）(D)	78,653	1,341,394	34,405,430	94,052
65-74歳認定者数(E)	1,836	30,877	745,464	1,834
75歳以上認定者数(F)	13,170	225,610	5,441,398	16,579
要支援認定者数(G)	3,910	79,934	1,727,776	6,526
要介護認定者数(H)	11,096	176,553	4,459,086	11,887
要支援1～要介護2認定者数(I)	10,298	175,828	4,039,867	13,268
要介護3以上認定者数(J)	4,708	80,659	2,146,995	5,145
認定者数（合計）(K)	15,006	256,487	6,186,862	18,413
高齢化率(D/A)	25.69	26.31	27.14	27.07
高齢者の内前期高齢者割合(B/D)	50.74	51.13	50.73	48.51
高齢者の内後期高齢者割合(C/D)	49.26	48.87	49.27	51.49
要支援1～要介護2認定率(I/D)	13.09	13.11	11.74	14.11
要介護3～5認定率(J/D)	5.99	6.01	6.24	5.47
全介護度合計認定率(K/D)	19.08	19.12	17.98	19.58

## ②久留米市の基礎データの特徴（H29年3月末時点 ※人口データは4月1日時点）

- ・高齢化率は全国と比較して1.45ポイント低く、福岡県と比較しても0.62ポイント低い。
- ・高齢者に占める前期、後期高齢者の割合は全国と同程度であり、前期高齢者の割合は、佐賀中部広域連合に比べて2.23ポイント高く、福岡県より0.39ポイント低くなっている。
- ・要支援1から要介護2までの軽度認定率は福岡県とは同程度であるが、全国と比較して1.35ポイント高くなっている。
- ・要介護3以上の重度認定率は全国より0.25ポイント低く、福岡県とは同程度であり、佐賀中部広域連合より0.52ポイント高くなっている。
- ・全介護度の認定率は、全国と比較して1.1ポイント高く、福岡県とは同程度であり、佐賀中部広域連合より0.5ポイント低い。

## ③久留米市の特徴のまとめ

- ・高齢化率は全国、福岡県、佐賀中部広域連合と比較して低く、前期、後期高齢者の割合は全国と同程度であるものの、後期高齢者の割合は福岡県よりやや高く、佐賀中部広域連合よりも低くなっている。
- ・軽度認定率については、全国より高く、同じく全国と比較して軽度認定率が高い福岡県と同程度になっている。
- ・重度認定率については、全国よりやや低く、福岡県とは同程度であるものの、後期高齢者の割合が高い佐賀中部広域連合と比較して高くなっている。
- ・認定者全体では、全国と比較して認定率が高く、福岡県とは同程度であり、佐賀中部広域連合より低くなっている。

### 3、地域分析シート作成の活用データと検証指標（ID）について

活用データ・指標名	指標ID	指標の概要	備考
認定率	B4-a	第1号被保険者の内、要支援・要介護認定者数を百分率(%)で示したものです	単位：% 各年度3月時点
調整済み認定率	B5-a	前期高齢者と比較して後期高齢者の認定率が高いことから、人口構成を調整して算出したものです	〃
調整済み重度認定率 (要介護3～5)	B6-a	「調整済み認定率」と同様の調整をした要介護3以上の認定率です。	〃
調整済み軽度認定率 (要支援1～要介護2)	B6-b	「調整済み認定率」と同様の調整をした要支援1から要介護2までの認定率です。	〃
受給率 (施設サービス)	D2	第1号被保険者の内、施設サービスの受給者数を百分率(%)で示したものです	各年度3月時点(H28年度は、H29年1月時点)
受給率 (居住系サービス)	D3	第1号被保険者の内、居住系サービス(グループホーム、特定施設など)の受給者数を百分率(%)で示したものです	〃
受給率 (在宅サービス)	D4	第1号被保険者の内、在宅サービスの受給者数を百分率(%)で示したものです	〃
1人あたり給付月額 (在宅・居住系サービス)	D15-a	在宅・居住系サービスの給付費を当該受給者数で除した値(%)です	単位：円 各年度3月(H28年度はH29年1月)
1人あたり給付月額 (在宅サービス)	D15-b	在宅サービスの給付費を当該受給者数で除した値(円)です	〃
1人あたり給付月額 (訪問介護)	D17-a	訪問介護の給付費を当該受給者数で除した値(円)です	〃
1人あたり利用回数 (訪問介護)	D31-a	訪問介護の利用回数を当該サービスの受給者で除した値(回数)です	単位：回 各年度3月(H28年度はH29年1月)

1人あたり給付月額 (通所介護)	D17-f	通所介護の給付費を当該受給者数で除した値(円)です	単位:円 各年度3月(H28年度はH29年1月)
1人あたり利用日数 (通所介護)	D31-e	通所介護の利用日数を当該サービスの受給者で除した値(日数)です	単位:日 各年度3月(H28年度はH29年1月)
1人あたり給付月額 (通所リハ)	D17-g	通所リハの給付費を当該受給者数で除した値(円)です	単位:円 各年度3月(H28年度はH29年1月)
1人あたり利用日数 (通所リハ)	D31-f	通所リハの利用日数を当該サービスの受給者で除した値(日数)です	単位:日 各年度3月(H28年度はH29年1月)
1人あたり給付月額 (短期入所生活介護)	D17-h	短期入所生活介護の給付費を当該受給者数で除した値(円)です	単位:円 各年度3月(H28年度はH29年1月)
1人あたり利用日数 (短期入所生活介護)	D31-g	短期入所生活介護の利用日数を当該サービスの受給者で除した値(日数)です	単位:日 各年度3月(H28年度はH29年1月)
1人あたり給付月額 (認知症対応型共同生活介護)	D17-q	認知症対応型共同生活介護の給付費を当該受給者数で除した値(円)です	単位:円 各年度3月(H28年度はH29年1月)

### 【調整済み認定率について】

- 調整済認定率とは、認定率の多寡に影響する「第1号被保険者の性・年齢構成」を除外した認定率です。
- 後期高齢者の割合が高い場合、認定率が高くなることから、施策検討のために年齢構成による認定率への影響を除外しています。
- 性・年齢調整をすることで、全国平均と同様になるよう調整し、認定率の地域間での比較がしやすくなります。
- 男性・女性の65歳以上90歳未満は5歳きざみ、また90歳以上の各層が65歳以上に占める割合を計算し、その割合で1号被保険者を按分しています。
- 按分した後の1号被保険者に当該市の認定率をかけて算出した認定者数をもとに、按分前の1号被保険者から割りもどし、「調整済み認定率」を算出します。

※H25年度までの「調整済認定率」の年齢階層は「前期高齢者」・「後期高齢者」の割合で按分して算出しています。

第7期介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シート

活用データ名・ 指標名	指標 ID	単位	備考	データの値											
				久留米市			福岡県平均			全国平均			比較地域 (佐賀中部)		
				H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
認定率	B4-a	%	見える化・時系列 (各年度3月時点)	19.2	19.1	19.1	19.3	19.2	19.1	17.9	17.9	18.0	19.4	19.6	19.6
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(他地域と 比較) (各年度3月時点)	18.7	18.7	18.9	18.9	18.9	18.9	17.9	17.9	18.0	17.4	17.8	17.9
調整済み重度認定率 (要介護3～5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と 比較) (各年度3月時点)	6.1	6.0	5.9	5.9	5.9	5.9	6.3	6.2	6.2	4.9	4.9	4.9
調整済み軽度認定率 (要支援1～要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(他地域と 比較) (各年度3月時点)	12.6	12.7	13.0	13.0	13.0	13.0	11.7	11.7	11.7	12.5	12.8	13.0
				H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
受給率 (施設サービス)	D2	%	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	2.6	2.6	2.6	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.8	3.0	2.9	2.9
受給率 (居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.5	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	1.1
受給率 (在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	11.5	11.7	11.7	11.3	11.2	10.9	10.7	10.7	10.4	12.2	12.3	12.5
受給者1人あたり給付 月額(在宅および居住 系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	124,390	123,680	120,365	115,443	114,565	113,147	118,973	118,083	115,968	119,454	116,505	112,734
受給者1人あたり給付 月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	110,517	110,699	106,828	102,822	102,687	100,696	108,351	108,053	105,274	109,894	107,476	103,089
受給者1人あたり給付 月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	36,623	34,655	34,095	37,024	36,838	37,636	50,000	51,083	52,505	37,215	35,389	35,134
受給者1人あたり利用 日数・回数(訪問介 護)	D31-a	回	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	11.1	11.1	11.1	10.5	11.2	12.2	15.1	16.2	17.3	12	11	11
受給者1人あたり給付 月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	81,157	80,836	73,271	75,267	74,170	68,401	69,337	68,381	62,239	94,968	93,492	80,011
受給者1人あたり利用 日数・回数(通所介 護)	D31-e	日	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	9.1	9.7	8.8	8.5	9.0	8.5	7.6	8.0	7.3	11	12	10
受給者1人あたり給付 月額(通所リハ)	D17-g	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	68,040	65,873	59,715	67,394	65,205	58,843	66,327	64,976	58,273	60,600	56,739	52,166
受給者1人あたり利用 日数・回数(通所リハ)	D31-f	日	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	7.0	7.1	6.3	6.9	7.0	6.2	6.5	6.6	5.8	6	6	5
受給者1人あたり給付 月額(短期入所生活 介護)	D17-h	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	100,779	97,468	89,323	90,888	86,369	87,403	94,871	92,110	92,958	112,985	104,951	102,695
受給者1人あたり利用 日数・回数(短期入所 生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	12.1	12.5	11.5	11.0	11.0	11.1	11.3	11.5	11.6	15	14	14
受給者1人あたり給付 月額(認知症対応型 共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、H28年度1月 時点)	250,315	247,547	250,796	251,841	244,924	246,119	253,217	247,603	247,641	250,742	244,190	252,466

## 4、主な乖離点と課題の考察について

活用データ・指標	国・福岡県・近隣保険者との比較	乖離の理由・問題の考察	検証方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定率</li> <li>・ 調整済認定率</li> <li>・ 調整済重度認定率</li> <li>・ 調整済軽度認定率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調整済み認定率は全国、佐賀中部より高く、福岡県と同程度である。</li> <li>・ 調整済み重度認定率は全国よりも低く、福岡県とは同程度であり、佐賀中部より高い。</li> <li>・ 調整済み軽度認定率は全国よりも高く、福岡県、佐賀中部と同程度である。</li> <li>・ 全国、福岡県と比較して H26 年度以降の調整済み軽度認定率の経年変化がやや大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 調整済み認定率が全国より高いのは、軽度認定者の比率が高いためと考えられる。</li> <li>② 軽度認定率は全国よりも高くなっているが、福岡県全体に同様の傾向が見られるため、県内、県外その他保険者の状況確認が必要である。</li> <li>③ 軽度認定率が全国より高い原因は、久留米市のサービス提供体制（医療・介護サービス）の影響も考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・②「見える化」システムなどで、県内の保険者や他県の類似自治体との比較検証を行う。</li> <li>①・②「要介護認定適正化事業」の業務分析データを活用し、一次判定の偏りの有無や合議体の認定結果などの確認を行う。</li> <li>③ 市の在宅医療・介護連携課題分析事業を用い、医療と介護のサービス利用状況と介護度の関係を検証する。</li> </ul>

### 【課題解決のための対応策（案）】

- 調整済み認定率が全国と比較して高く、軽度認定者の比率が多い傾向としては福岡県と同様であるが、県内・県外の保険者の人口分布や家族構成、認定率の状況及びサービス利用状況などを確認し、乖離の原因を検証していく必要がある。
- 適正な要支援・要介護の認定のために、認定調査員の訪問調査時の確認技術の平準化や、認定審査会の運営の適正化など、継続してヒアリングや研修を実施し、要介護認定適正化事業の業務分析データを活用するなど、検証を行っていく必要がある。
- 認定率や調整済み軽度認定率の高さ、重度認定率が全国よりやや低い要因など、要支援・要介護認定者の医療・介護サービスの利用状況や、介護度の変化、要介護（要支援）認定申請数の他保険者との比較などを行い、原因を検証していく必要がある。



活用データ・指標	国・福岡県・近隣保険者との比較	乖離の理由・問題の考察	検証方法
・ 受給率 (施設サービス) (居住系サービス) (在宅サービス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設サービスの受給率は、全国、福岡県、佐賀中部と比較してやや低い。</li> <li>・ 居住系サービスの受給率は、全国、福岡県、佐賀中部より高い。</li> <li>・ 在宅系サービスの受給率は、全国、福岡県と比較して高く、佐賀中部より低い。</li> <li>・ 受給率全体は全国、福岡県より高く、佐賀中部より低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 比較的、施設サービスの受給率がやや低く、居住系サービスの受給率が高いため、居住系サービスが施設サービスの代替になっていると考えられる。</li> <li>② 在宅サービスの受給率が高い要因として、軽度認定率が高いことや、市の在宅サービスの提供量が多いことが考えられる。</li> <li>③ 受給率全体が高い要因として、認定率自体が高いことや、サービス提供量が多いことが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・②・③「見える化」システムなどで、県内の保険者や他県の類似自治体との比較検証を行う。</li> <li>③ 認定率が高い原因の検証方法として、「要介護認定適正化事業」の業務分析データを活用し、一次判定の偏りの有無や合議体の認定結果などの確認を行う。</li> </ul>

**【課題解決のための対応策（案）】**

- 介護施設や居住系サービスの整備に際しては、介護施設の待機状況の確認に加え、居住系サービスやショートステイの利用状況も勘案し、軽度認定率や重度認定率の推移を参考に必要な整備量を算出する必要がある。
- 今後とも介護保険サービスの需要が増加する中で、サービス供給量の多さがサービスの質の低下に繋がらないよう、事業所の運営状況の確認や指導等を行っていく必要がある。
- 地域包括ケアシステムを推進していくことで、自立支援・重度化防止の取り組みを強化し、重度認定率の増加の抑制を図るとともに、適正な要支援・要介護認定に努める必要がある。
- 市民や介護事業者などに対し、適切な介護サービスの利用について、さらに普及・啓発などに努めていく必要がある。

活用データ・指標	国・福岡県・近隣保険者との比較	乖離の理由・問題の考察	検証方法
<p>・受給者1人あたり給付月額、日(回)数  (在宅・居住系サービス)  (在宅サービス)  (訪問介護)  (通所介護)  (通所リハ)  (短期入所生活介護)  (認知症対応型共同生活介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅・居住系サービスの1人あたり給付月額は、全国、福岡県、佐賀中部より高い。</li> <li>・ 在宅サービスの給付月額のみでも全国、福岡県、佐賀中部より高い。</li> <li>・ 訪問介護の1人あたり給付月額と利用回数は全国より少なく、福岡県、佐賀中部と同程度である。</li> <li>・ 通所介護の1人あたり給付月額と利用日数は全国、福岡県より多く、佐賀中部より少ない。</li> <li>・ 通所リハの1人あたり給付月額と利用日数は全国、福岡県よりやや多く、佐賀中部と比較して多い。</li> <li>・ 短期入所の1人あたり給付月額と利用日数は全国と同程度であり、福岡県よりやや多く、佐賀中部より少ない。</li> <li>・ 認知症対応型共同生活介護の1人あたり給付月額は全国、福岡県、佐賀中部と同程度である。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 在宅サービスの給付月額が高い主な要因は、通所介護や通所リハの利用日数が多いためと考えられる。</li> <li>② 通所介護や通所リハの利用日数が多い要因は、軽度認定者が多いこと、事業所数自体が多いことが考えられる。</li> <li>③ 通所介護に限らず、在宅系サービスの給付月額が高い要因は、世帯構成や日中の介護を必要とする家族の事情(家族の仕事などで独居の時間がある)、自宅での入浴が困難などが考えられる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①・②・③「見える化」システムなどで、県内の保険者や他県の類似自治体との比較検証を行う。</li> <li>③ 市の介護予防・日常生活ニーズ調査、在宅介護実態調査を参考に、サービスの利用状況を検証する。</li> </ol>

### 【課題解決のための対応策（案）】

- 通所介護事業所や通所リハなど事業所別のサービス提供状況などを確認し、介護度別での利用回数等の在宅系サービス利用の偏りを他保険者と比較検証して、サービス利用の適正化に努める必要がある。
- 軽度者の介護サービスの利用については、総合事業の利用状況などを確認し、更新時での制度の周知など円滑なサービス移行を進め、総合事業での新規サービスについても利用促進に取り組む必要がある。
- 全国や福岡県と世帯構成は類似しているが、通所系サービスの利用日数が多いため、利用者の家族の事情（勤務形態など）を考慮しつつ、ケアプランチェックなどを行い、サービス利用の適正化に努める必要がある。

【参考資料】要支援・要介護者1人あたり定員

○居住系サービス

(「見える化」システム抜粋:H29.3月時点)

要支援・要介護者1人あたり定員(人)	久留米市	福岡県	全国	佐賀中部広域連合
特定施設入居者生活介護	0.038	0.051	0.043	0.018
認知症対応型共同生活介護	0.058	0.039	0.032	0.042
地域密着型特定施設	-	0.001	0.001	-
居住系サービス合計	0.095	0.091	0.077	0.060

○通所系サービス

(「見える化」システム抜粋:H29.3月時点)

要支援・要介護者1人あたり定員(人)	久留米市	福岡県	全国	佐賀中部広域連合
通所介護	0.173	0.193	0.153	0.249
通所リハビリテーション	0.095	0.067	0.044	0.102
認知症対応型通所介護	0.006	0.005	0.007	0.010
小規模多機能型居宅介護(宿泊)	0.017	0.007	0.006	0.009
小規模多機能型居宅介護(通い)	0.039	0.016	0.012	0.017
看護小規模多機能型居宅介護(宿泊)	0.003	0.000	0.000	0.000
看護小規模多機能型居宅介護(通い)	0.008	0.001	0.001	0.001
通所系サービス合計	0.342	0.289	0.224	0.390

【参考資料】高齢世帯割合

(「見える化」システム抜粋:H22年国勢調査)

世帯割合(人・%)	久留米市	福岡県	全国	佐賀中部広域連合
高齢者独居世帯	10,704(9.2%)	210,453(10.0%)	4,790,768(9.2%)	10,930(8.6%)
高齢者夫婦世帯	8,540(7.3%)	166,133(7.9%)	4,339,235(8.4%)	10,155(8.0%)
総世帯数	116,381	2,106,654	51,842,307	127,656